

## 8.19 地域分断

### 8.19.1 調査事項

調査事項は、表 8.19-1 に示すとおりである。

表 8.19-1 調査事項

区 分	調査事項
予測した事項	・生活動線（特に歩行者動線）の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度
予測条件の状況	・施設配置計画
ミティゲーションの実施状況	・敷地は自由に通り抜けられる通路空間として整備し、歩行者のアクセス性を向上させる計画としている。 ・計画地内の外構部には、敷地内及び周辺の情報を表示した案内サインを設置する計画としている。

### 8.19.2 調査地域

調査地域は、計画地とした。

### 8.19.3 調査手法

調査手法は、表 8.19-2 に示すとおりである。

表 8.19-2 調査手法

	調査事項	生活動線（特に歩行者動線）の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度
	調査時点	施設完成後（2019年12月）とした。
調査期間	予測した事項	施設完成後とした。
	予測条件の状況	施設完成後の適宜とした。
	ミティゲーションの実施状況	施設完成後の適宜とした。
調査地点	予測した事項	計画地とした。
	予測条件の状況	計画地とした。
	ミティゲーションの実施状況	計画地とした。
調査手法	予測した事項	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。

### 8.19.4 調査結果

#### (1) 調査結果の内容

##### 1) 予測した事項

ア. 生活動線（特に歩行者動線）の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度  
 新国立競技場(オリンピックスタジアム)は、旧国立霞が丘競技場の建て替えであり、その位置に大きな変化はなく、日々の日常で利用するスーパーや公共施設等への移動動線にも大きな変化は確認されなかった。旧国立霞が丘競技場の南側の道路は、新国立競技場（オリンピックスタジアム）と一体整備されたが、計画建築物の周囲には自由に通り抜けられる通路空間が整備され、計画地全体にわたり回遊性のあるネットワークを持ち、バリアフリーに配慮したことにより、計画地周辺の東西方向の動線は確保されていることを確認した。

##### 2) 予測条件の状況

##### ア. 施設配置計画

施設配置計画は、「4. 新国立競技場(オリンピックスタジアム)の計画の目的及び内容 4.2 内容 4.2.4 事業の基本計画 (1) 配置計画」(p.9～11 参照)に示したとおりである。

##### 3) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.19-3 に示すとおりである。

なお、地域分断に関する苦情は工事終了までになかった。

表 8.19-3 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>敷地は自由に通り抜けられる通路空間として整備し、歩行者のアクセス性を向上させる計画としている。</li> </ul>	敷地内は自由に通り抜けられる通路空間として整備した(写真8.19-1～写真8.19-3)。
<ul style="list-style-type: none"> <li>計画地内の外構部には、敷地内及び周辺の情報を表示した案内サインを設置する計画としている。</li> </ul>	計画地内の外構部には、敷地内及び周辺の情報を表示した案内サインを設置した(写真8.19-4)。



写真 8.19-1 通路空間 (その1)  
(計画地北西側)



写真 8.19-2 通路空間 (その2)  
(計画地南東側)



写真 8.19-3 通路空間 (その3)  
(計画地西側)



写真 8.19-4 案内サイン  
(計画地北側)

(2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

1) 予測した事項

ア. 生活動線（特に歩行者動線）の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度  
事業の実施に伴い、旧国立霞が丘競技場の南側道路が一体整備されたが、計画建築物の周囲には自由に通り抜けられる通路空間を整備し、バリアフリーで計画地全体にわたり回遊性のあるネットワークを創出できたものと考えられる。

以上のことから、予測結果と同様に、周辺地域住民の主たる生活動線や周辺のスポーツ施設等と一体的に利用する環境の分断はないものとする。